⑪小山御殿
　将軍日光社参の時、泊まる建物であった。家光が家康を日光に葬るために来たとき建てたもの。「東西百間余、南北五拾間余、北は小山城に接し、其余三方には保理を浬（ほり）を穿ちて要害とす。御旅館の結構は御座間、御広間より御台所向に至るまで悉く備はれり。…堀田筑前守御領りのとき延宝8年（1680）8月、大風にて御殿頗る損壊せしにより遂に廃毀せらる。元和（1615-24）より延宝までの間、御止宿あらせられしすべて6回なりしといふ。今は御座の間跡を除地として、其余は一面に畑となり、外構土居の形のみ在せり」（日光道中略記）

小山御殿発掘現場

⑩佐野の渡
　対岸に大行寺があるので「大行寺渡し」ともいった。

⑧庚申塔
　寛政12年（1800）建立。エノキの大木と一緒にあった。小山宿から、思川を舟で渡り、佐野・栃木方面に向かう人々の道しるべで「左佐野道　右栃木道」と記されている。

評定所跡の碑

⑨評定所跡の碑
　慶長5年(1600)7月24日、徳川家康は会津の上杉景勝を討つべく小山に到着した。このとき、石田三成が家康打倒の兵をあげたことを知り、翌25日、この地において軍議が開かれました（小山評定）。同年9月15日、関ヶ原の戦いで東軍(徳川方)の勝利となる歴史上重要な所。

⑥清水坂
　小山宿から岩舟道・佐野道を思川の舟渡しに至る坂道。昔から坂の崖に沿って清水が湧き出ていたことに由来する。

愛宕神社（宮本町）

⑦愛宕神社
　康暦元年（1379）小山義政の創建と伝える。石の鳥居は寛文7年（1667）のもの。境内にはケヤキや芭蕉門下の宝井其角の句碑などがある。

③持宝寺
　奈良時代に弓削道鏡が開基と伝える。もとは御殿跡付近にあったが、本多正純が祇園城を改修したときに現在地に移転したという。「もと小山家の祈願寺にて、そのかみ小山城の南（今の御殿跡）にありしを、慶長5年（1600）本田上野介の指揮により今の地に移され」（日光道中略記）　享保13年（1728）4月15日、8代将軍徳川吉宗が日光社山時に休息所「有徳院様御小休所跡」とした。その時、栗毛の馬に乗り、稲葉郷の北の出口、上石塚村の掃除場に来たとき、掃除人足が平伏していたので「是より東に見える山は何山か」と尋ねると「筑波山です」と答え、「続いて見える山は何山か」と尋ねると「加波山です」と答えたところ「絵図に印がある常陸国の筑波、加波山はあれなり、絵図の通りなり」と感心したといわれている。元禄2年（1689）に製作され、寛政4年（1792）再鋳造の梵鐘は戦時中に供出を免れた。

② 小山宿南入口
　かってこの付近が小山宿入口で、土塁や柵があった。「青蓮寺堤　東西北の三方に堤あり。内は方七拾間許の千なり。いにしへ青蓮寺といへる尼寺の跡なりといふ」（日光道中略記）

妙建寺

⑤妙建寺
　建武元年（1334）の開基。本堂は享保2年（1717）の建立。格子天井には百人一首の絵と歌が59枚ある。中心には龍が描かれている。灯籠・手水石は小山宿の遊女たちが奉納した。

小山大橋や鷲城趾へ行くことができる

須賀神社



④須賀神社
　小山66郷の総鎮守とされてきた。牛頭天王とも呼ばれ、藤原秀郷が天慶3年（940）に、戦勝祈願のため京都祇園社を勧請した。もとは小山城内にあったが、本多正純が慶長6年（1601）に現在地に移した。石の鳥居は承応2年（1653）、小山町旦那衆よる奉納で高さ4.1m。境内には七つ石（夜泣き石）がある。